

# 品質・収量向上のため、秋の土づくりをオススメします！ ○土づくり肥料の主な成分と効果

## ◆ケイ酸

稲はケイ酸を非常に好み、生育期間中に一番多く吸収されます。

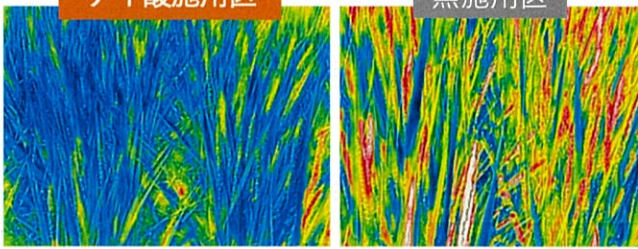
近年は夏の異常高温が当たり前に…。ケイ酸を補給し、強い稲体を作りましょう！！



### ○ケイ酸多量施肥試験 根量調査

ケイ酸施用区の方が…

1. 根量が多くなる傾向！！
2. 太い根から出る細かい根(細根)が増加する傾向！！



### ○ケイ酸多量施肥試験

#### サーモグラフィー調査

ケイ酸施用区の方が…

稲体の温度が下がる傾向！！

調査日：令和3年8月11日 時刻：午前11:30頃

天候：晴れ 気温：35.3℃ 風速：2.3m/s

## ◆鉄

水田では、鉄が少なくなると土壤に硫化水素が発生し、根腐れなどを引き起こす、いわゆる「秋落ち」が生じる可能性があります。

➡ 県内でも、多くの地域で鉄が不足しています！

ワキの発生

根腐れ



## ◆有機物

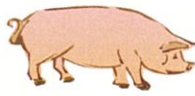
堆肥等による土づくりは、

1. 窒素肥沃度を向上させ、登熟期間の稲体の活性を維持します。
2. その結果、光合成や水分吸収が活発になり、高温ストレス抵抗力が高まる  
といった効果が期待できます。

➡ 異常高温対策として、堆肥散布も大事な「土づくり」となります！！



鶏ふん



豚ふん



牛ふん

堆肥は原料によって、性質が異なるため、目的にあった堆肥を選択して使用しましょう。



裏面へ

# ○おすすめ土づくり肥料



肥料名	容量 (kg)	保証成分 (%)						含有成分 (%)
		リン酸	加里	アルカリ	ケイ酸	苦土	マンガソ	鉄
ニューミスター	15	2		32	32			
ソイルキーパーFe	20			35	13.5	1.5		19
ソイルSIM	20	2		38	20	3.5	2	8



○ニューミスター(標準施用量:30kg以上/10a)

ケイ酸を32%保証、15kg袋で取り扱いやすい省力肥料。

○ソイルキーパーFe(標準施用量:100kg以上/10a)

ケイ酸の他、鉄成分を含んでおり、鉄不足の圃場にオススメ!

○ソイルSIM(標準施用量:60kg以上/10a)

ケイ酸、苦土、マンガソ、鉄など土づくり成分をバランスよく含みます。

# ○堆肥+土づくり成分の肥料

指定混合肥料

# 稲サポ

水稲向け総合土壌改良材

○標準施用量: 45kg ~ 105kg / 10a

○肥料取締法改正に伴い、堆肥と普通肥料の混合が可能になったことから開発された肥料です。

○牛ふん堆肥による水田地力向上に加え、リン酸、加里、ケイ酸、苦土、マンガソといった重要な土づくり成分を含んでいます。

→堆肥と土づくり肥料成分を同時に散布可能!!



容量 (kg)	成分例 (%)						堆肥使用割合 (%) (乾物換算値)
	窒素	リン酸	加里	苦土	マンガソ	ケイ酸	
15	0.8	7.0	6.0	3.0	3.0	8.0	約30

# ○稲ワラ分解促進資材



資材名	容量	形状	10aあたり施用量
ワラ分解キング	10kg	顆粒	10kg
アグリ革命	2kg	細粒	2kg
アグリ革命アクア	100ml 500ml	液体	100ml (希釈して使用)

★上手な使い方★

- ・ワラに直接かかるように散布してください。
- ・雨の日の後など、ワラが湿った状態が効果的です。
- ・散布後はできるだけ早く土壌にすきこんでください。

○ワラ分解キング

2種類の分解菌の力で、稲の分解を促進します。

○アグリ革命

酵素の力で、稲の分解期間を短縮します。

○アグリ革命アクア

アグリ革命の液体タイプ。

(肥料農薬部 肥料農薬推進課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。